

後期参観授業の結果の詳細については、本学のユニークな学科構成を考慮して、学科・センター別に以下に結果を示す。

### 【環境園芸学科】

参観授業として3授業開催した。参加者数は各授業4名と極めて少なかった。これまでの参観授業への参加者からは有意義な刺激を受けたとの印象が伝えられていたが、参加者が少なく貴重なFDの機会が活かされていない。参観の機会を促すため開催数を増やすことも考えられる。

表 平成24年度 環境園芸学科参観授業と参加者数

担当教員名	参観授業名	実施日時	参加人数
山口 健一	環境保全園芸論	12月9日(月)2時間目	2名
新谷 喜紀	動物分類学	12月11日(水)1時間目	1名
平岡 直樹	都市計画論	12月13日(金)1時間目	1名

### 【管理栄養学科】

(対象授業)

授業①:小川恒夫教授 12月12日(木)4限 宮崎 C-3202 教室 からだと疾病Ⅱ

授業②:朝見祐也准教授 1月14日(火)1限 宮崎 C-1109 教室 給食経営管理論実習Ⅰ

(参観者)

授業①:無し

授業②:無し

(課題)

- ・ 昨年まで管理栄養学科では、参観者が1授業につき数名あったが、今回は全く参加がなかった。
- ・ 教授会・学科会議等での周知は出来ているが、さらに学科内での参加促進を図る必要があると考える。
- ・ 参観をする授業の時間について、多くの参加者が見込める時間設定、つまり5限等への時間の変更も必要になるかもしれない。

### 【食品健康学科】

(1)対象授業

3名の教員が担当する下記科目を授業参観対象科目として実施した。

日時	授業科目	担当教員	参観者	
12月5日(木) 5講時	フードスペシャリスト論	外山	1名	食品開発科学科 寺原教授
12月11日(水) 1講時	生物化学Ⅱ	金松	3名	学生支援課 斉藤課員他
12月12日(木) 3講時	生理学	山田	2名	短大 横堀准教授 企画広報課 黒木(弥)課員

(2)参観結果

上表の通り、参観者は対象3科目で延べ6名であった。学科内で参観授業の実施について何度か通知したに

もかわらず、これまでと同様に参観者が少ない結果となった。他教員の授業を参観することに対する教員の意識の低さは前年同様変化していないようである。授業参観は、授業実施教員の改善につながる可能性のみではなく、参観者にとっても、自身の授業改善に対する意識を必要に応じて高めることにもつながると考えられる。今後は、参観義務化の必要性の有無を検討することも選択肢の一つであろう。

#### 【子ども教育学科】

本学科では、2013年12月11日(水)、下記のように2名の教員による参観授業が実施された。

- ① 1限目 遠藤 晃 准教授 「子どもと自然」 参観者5名
- ② 2限目 矢口裕康 教授 「保育内容指導法(言葉)」 参観者7名

学生の興味・関心を引く内容構成の工夫がなされており、参考になるものであった。

#### 【教養・教職センター】

12月13日(金)西村盛正先生の教育実施: 参観者は一人、教養教職センターのFD委員会委員のスマール、ブライアン。(他の先生はキャンパス移動などあって参加できなかった)。